



会報〈やまたん〉

令和7年(2025年)

8月号

令和7年8月1日発行

発行者 白崎哲史

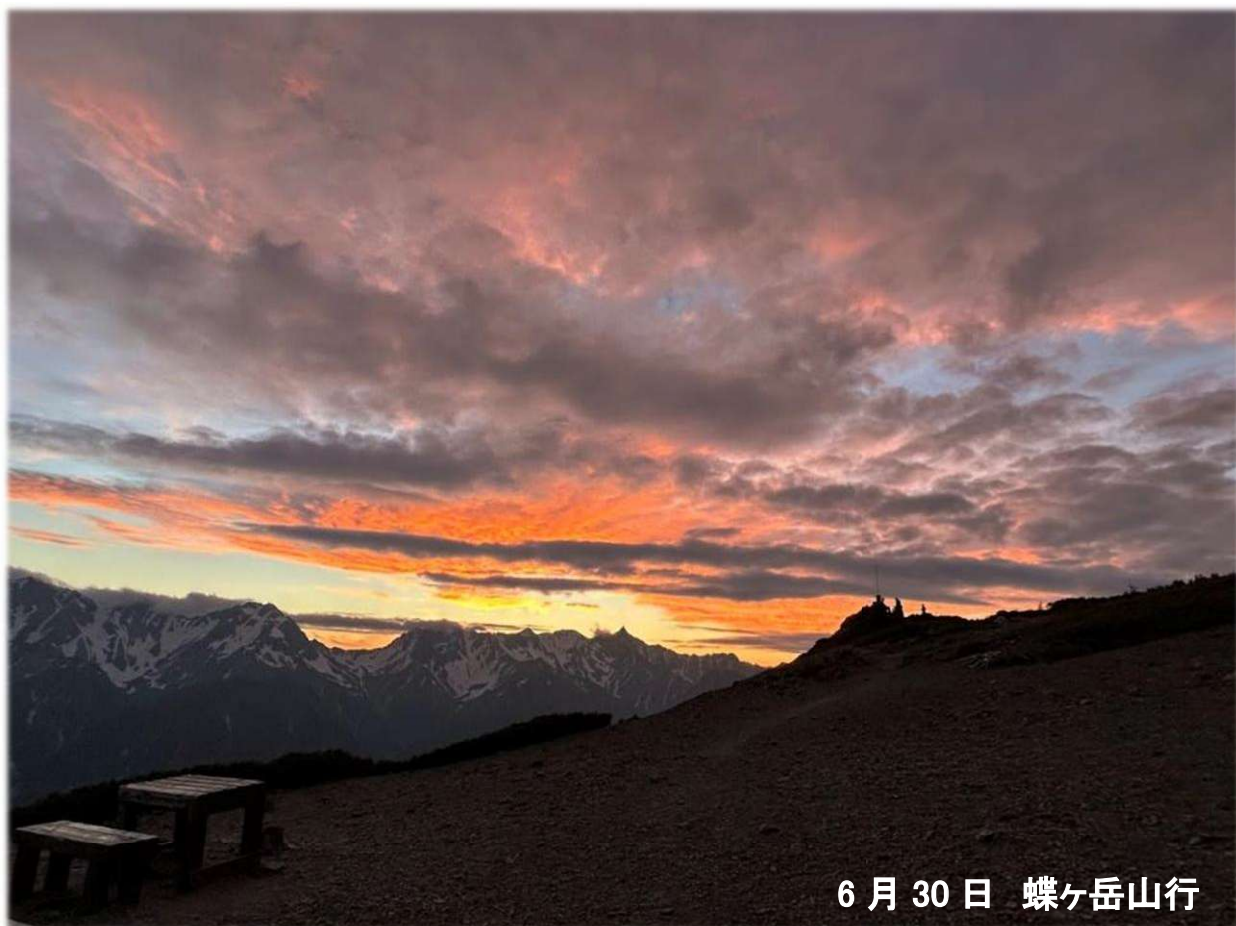
我孫子市つくし野1-16-10

会報部 編集者

福山 智



蝶ヶ岳より
穂高連峰の朝焼けを眺める



6月30日 蝶ヶ岳山行

8月の定例集会は、8月4日(月)19:00～

@我孫子北近隣センター並木本館

定例山行計画

ご案内



定例山行計画		南岳 ～ 槍ヶ岳 (3,033 m) (3,180 m)		リーダー:佐藤清宏 グレード:3C
月 日		2025 年 9 月 11 日(木) ～ 13 日(土) 山小屋 2 泊		
山 域		北アルプス	日の出日の入りなど	9/12 槍ヶ岳 5:19 / 18:12
目 的		北アルプスの 3000m 峰 4 座に登る		
費 用		約 50,000 円 (大人の休日利用)	交通機関	JR・タクシー・バス
行 程	1 日 目	我孫子 → 日暮里 → 新宿 7:00 → (あずさ 1 号) → 松本 9:38 / 9:50 → (タクシー) → 新穂高ロープウェイ駅 ⇒ (右俣林道) ⇒ 白出沢出合 ⇒ 滝谷出合 ⇒ 槍平小屋〔泊〕 ＜ コースタイム: 4 h 3 0 m ＞		
	2 日 目	槍平小屋 5:30 ⇒ (南岳新道) ⇒ 南岳小屋 ⇒ 南岳 ⇒ 中岳 ⇒ 大喰岳 ⇒ 槍ヶ岳山荘 ⇒ 槍ヶ岳頂上往復 ⇒ 槍ヶ岳山荘〔泊〕 ＜ コースタイム: 8 h 2 0 m ＞		
	3 日 目	槍ヶ岳山荘 5:30 ⇒ 千丈沢乗越 ⇒ (飛騨沢) ⇒ 槍平小屋 ⇒ 滝谷出合 ⇒ 白出沢出合 ⇒ 新穂高ロープウェイ駅 13:46 → 〈濃飛バス〉 → 平湯温泉 14:28 / 55 → 〈アルピコ交通〉 → 松本 16:23 / 17:20 → 〈あずさ 50 号〉 → 新宿 20:08 → 上野 → 我孫子 ＜ コースタイム: 7 h 3 0 m ＞		
個人装備		小屋泊り山行装備一式 ヘルメット		
メ モ		○登山ルートは、足場が悪く、徒渉（増水時は渡れない）や、急登、岩稜帯、ガレた急な下りなどがあり、厳しいルートです。 ○3,000m の稜線から、大キレットや北鎌尾根を間近に見ることができます。 ○山小屋の朝食を弁当にして、早く出発したいと考えていますが、参加者と相談します。 ○槍平小屋は、ネット予約で 1 泊 2 食 13,500 円 予約金が 28 日前から発生します。 ○槍ヶ岳山荘の予約は、1 か月前からです。 ○タクシー料金 松本駅～新穂高ロープウェイ駅 約 30,000 円 所要時間 2 h ○下山して、時間に余裕があれば日帰り入浴します。 ○台風接近などで荒天が予想される時は中止します。		

定例山行計画		奥大日岳・雄山～大汝山～富士の折立・浄土山 (2,606m・2,992m～3,015m～2,999m・2,831m)			リーダー:鈴木忠浩 グレード:3B	
月 日		2025 年 9 月 23 日(火)～26 日(金) 車中1泊 山中2泊3日 テント泊				
山 域		北アルプス	日の出日の入りなど	24 日	日の出 5:39	日の入 17:44
				26 日	日の出 5:41	日の入 17:41
目 的		雷鳥平をベースキャンプに紅葉の立山を満喫する				
費 用		約 25,000 円	交通機関	マイカー		
行 程	1 日 目	我孫子 → 扇沢				
	2 日 目	扇沢駅 7:30 → 室堂 8:55 ⇒ 雷鳥沢野営場 ⇒ 室堂乗越 ⇒ 奥大日岳⇒ 室堂乗越 ⇒ 雷鳥沢野営場 ＜歩行時間： 6：25 ＞				
	3 日 目	雷鳥沢野営場 ⇒ みくりが池温泉 ⇒ 一ノ越 ⇒ 雄山 ⇒ 大汝山 ⇒ 富士の折立 ⇒ 雷鳥沢野営場 ＜歩行時間： 6：20 ＞				
	4 日 目	雷鳥沢野営場 ⇒ 室堂登山口 ⇒ 浄土山 ⇒ 龍王岳 ⇒ 一ノ越 ⇒ 室堂 → 扇沢駅 → 我孫子 ＜歩行時間： 3：50 ＞				
個人装備		テント泊装備一式、サブザック				
メ モ		・山行前日夜に我孫子を出発。車中で仮眠。 ・雷鳥沢野営場にベースキャンプを設営、日帰り装備で山行を楽しむ。 ・標準タイムで歩ける方の参加を求めます。				

定例山行報告

定例山行報告		桃洞沢・赤水沢、森吉山 (1, 454 m)		リーダー: 白崎 グレード: 2B
月 日	2025 年 6 月 20 日 (金) ～ 6 月 22 日 (日) 2 泊 3 日			
山 域	奥羽山脈北部	日の出日の入りなど	日の出時 4:09 日の入 19:11	
目 的	初夏の広大なナメ沢 (桃洞沢・赤水沢) と森吉山を楽しむ			
費 用	36, 400 円	交通機関	マイカー2 台	
行 程	6/20 (金) 我孫子 6:00 → 角館 (昼食) 13:30 / 14:30 → リゾートホテル フッシュ 15:00 6/21 (土) ホテルフッシュ 7:30 → 野生鳥獣センター 9:10/9:37 ⇒ 黒石登山道分岐 10:17 ⇒ 桃洞横滝 10:32 ⇒ 六段の滝 11:14 ⇒ 桃洞横滝 11:42 ⇒ 桃洞沢分岐 12:12 ⇒ 赤水沢方面探索 (13:00 に折返し) ⇒ 桃洞沢分岐 13:48 ⇒ 黒石登山道分岐 13:52 ⇒ 立川橋分岐 14:25 ⇒ 森吉山野生鳥獣センター 14:44 → ホテルフッシュ 16:10 ＜歩行時間: 約 4 時間＞ 6/22 (日) ホテルフッシュ 5:00 → ブナ帯キャンプ場駐車場 5:41 ⇒ 阿仁ゴンドラ山頂駅 (朝食) 6:34/6:59 ⇒ ブナ帯キャンプ場駐車場 7:34 → (温泉入浴・昼食・夕食) → 我孫子・柏 22:00 ＜歩行時間: 約 1 時間半＞			
参加者	白崎哲史 (L・カメラ)、土田義二 (SL・記録)、小林安代 (涉外)、佐藤明子 (やまなみ)、小山三恵 (会計)、吉川みよ子 (カメラ)			
ルート状況	【桃洞沢・赤水沢】 ・ 森吉山野生鳥獣センターからのルートは、桃洞沢の入渓地点まで平坦なブナ林帯「クマゲラの森」を歩くことになるが、天候に恵まれたこともあり、清々しいブナの新緑に包まれてとても爽快であった。 ・ 途中、クマゲラの野太いドラミングの音を聞くことができた。しかし姿を目視することはできなかった (クマゲラのドラミング音は野生鳥獣センターで聞くことができる)。 ・ 梅雨時であったものの、この地の降水量はそれほど多くなかったようで、桃洞沢に入渓しても水量は少なめであった。その水は透明で風も弱かったこともあり、ときに水面は鏡面となって兩岸の草木や山の姿を映し出してくれた。 ・ とときどき現れる小滝には藻類が繁殖していることがあり、ラバーソールでは滑りやすかった。事前にラバーソールでもフェルトソールでも滑らないと案内していたが、フェルトソールのほうが向いていそうだった。 ・ 桃洞滝には他の登山者がいなかったので、一人ずつマタギのステップを辿って一段目まで登ってみた。意外と簡単だったようで、参加者はもっと登りたそうにしていたが、二段目に登ってしまうと降りるのが大変になるので諦めてもらった。 ・ 赤水沢に入渓するためには、しばらく沢脇の地上ルートを歩く必要がある。ところがそのルートは一部不明瞭で、ときに沢から離れてしまうことに留意する必要がある (帰りに道を見失い、藪漕ぎをして 3m ほどの崖をよじ登ってルートに復帰した)。 ・ 甌穴はあちこちに存在したが、水が透明で川底がよく見えたので、落ちることはなかった。			

ルート状況	【森吉山】 ・ ブナ帯キャンプ場前の駐車場からの登りはゴンドラの山頂駅までそこそこ急登が続く。 ・ 小雨で登り始めたが、途中から風雨が強くなり、霧に包まれ始めた。山頂駅の軒先で雨宿りしながら朝食を摂るも、風雨は弱まる気配はなく、気温が下がり始め、稜線に上がるとさらに強まることが予想されたため、登頂を断念して引き返すこととした。
メモ	・ 宿泊したホテルフッシュは中規模サイズのペンションで、ちょうど北秋田市の観光キャンペーンにより、宿泊費が一人1泊 3000 円割引された（2泊なので一人 6000 円の割引）。オーナーは高齢のお母さん（息子さんとその友だちがサポート）。食事は彼女がつくっていて、ほっこりとした味わい。4人部屋を2つ使わせていただいた。 ・ 森吉山野生鳥獣センターは時間が許せば立ち寄るべき。センター長の加賀さんは、人なつこい感じの好々爺で話し好き。今年のクマの出没状況を訊ねると、山では目撃情報がないというが、町では目撃情報が増えていて、生息地が人里近くに移っているようだとのこと。埒にしているのは、杉林ではないかという。 ・ 角館で昼食をとったのは、武家屋敷のほぼ真ん中にある桜の里本店。比内地鶏の親子丼と稲庭うどんのセットは満足度がとても高かった〈「うどんは好きじゃない」と言っていた土田さんは、帰りにも寄りたいとなどと……〉。 ・ 森吉山の下山後、汗を流したのは朝7時から営業している仙北市民浴・東風の湯（だしのゆ／単純ナトリウム・カルシウム泉）。盛岡に出て、Google での評価が高かった黒ひげにて冷麺と焼肉重とのセットを食して帰路についた。



森吉山野生鳥獣センターからクマゲラの森に入る。一面のブナ林は明るく、澄んだ空気に包まれた。クマゲラのドラミング音も聞こえてきた。



いよいよ桃洞沢に入溪。水量は少なく冷たくはない。とても穏やかで快適だ。



ときに沢水は鏡面となって周囲の自然を映し出す鏡となってくれた。

マタギのステップを頼りに、桃洞滝の一段目まで登ってみた。登るのは難しくないのですが、先へ先へと行ってしまうが、二段目に登ってしまうと降りるのが大変なので、ここで引き返してもらうことに。



陽だまりの赤水沢は時間がゆっくり流れているかのよう。



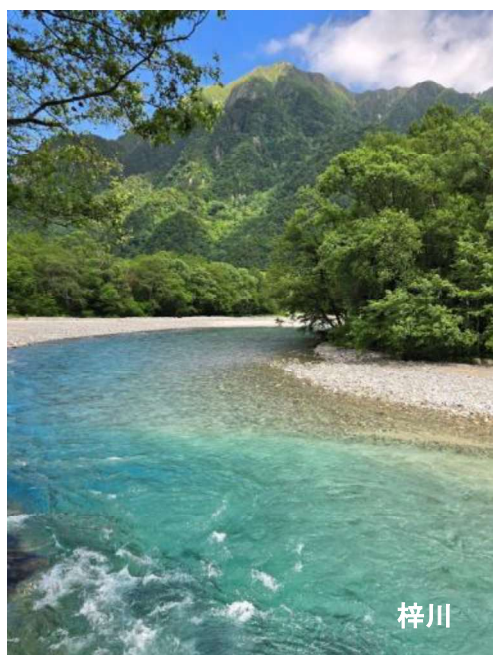
ニッコウキスゲ

どこまでもナメが続く景観は数時間いた程度では飽きない。水量が少なかったため、甌穴も見えるので誰も落ちることはなかった。



沢から上がり、クマゲラの森を引き返す。いまの天皇もここを訪れたことがあるそうで、関係者に「この森をよくぞ残してくださいました」と言ったとか。

定例山行報告			上高地 (約 1,500 m)		企画：相見 リーダー：小山 グレード：1A	
月 日		2025 年 6 月 27 日(金)～28 日(土)		1 泊 2 日 (テント泊・コテージ泊)		
山 域		北アルプス 上高地		日の出日の入りなど 04:35／19:10		
目 的		上高地散策				
費 用		交通費 19,000 円～ テント 1,500 円、キャビン 6,500 円		交通機関 JR, パークライナー (直行バス) 高速バス		
行 程	1 日 目	上高地 BT 前に 13:00 集合予定 上高地 BT12:40⇒河童橋⇒小梨平キャンプ場 13:00 (荷物デポ) ⇒河童橋⇒田代池⇒大正池⇒穂高橋⇒岳沢湿原⇒河童橋⇒小梨平キャンプ場 16:00 ＜歩行時間：約 3 時間＞				
	2 日 目	小梨平キャンプ場 5:40 (荷物デポ) 朝食 6:50⇒明神⇒徳澤(休憩)⇒明神⇒小梨平 10:20 (解散) ＜歩行時間：約 4 時間＞				
ル ー ト 状 況		概ね大変歩きやすいが、崩落により通行止めになっている木道が 3,4 か所あった				
参 加 者		小山 (L)、高橋芳 (食担 L)、平野 (食担)、中村育 (食担 L)、鈴木真 (食担)、 相見 (SL・やまなみ)、齊田 (医療・記録)、本田 (会計)、鈴木忠 (カメラ) 男 1 名、女 8 名 計 9 名 (コテージ泊 6 名、テント泊 3 名)				
メ モ		・ 今年から、松本―上高地間のバスが全て事前予約になり料金は値上がりした。 ・ クマ対策としてテント泊者もキャビンで食事を摂り、水以外の食料をキャビンに預けた。 ・ 2 班に分かれて行動した (滞在組と散策組) ・ テント用敷板は 250 円。 ・ 何度も訪れてはいたが直ぐに登山口に向かっていた者と上高地を初めて訪れた者が一緒に 湿原を訪れ、清流の風を感じながら残雪の穂高連峰を梓川から仰ぎ見た。 ・ 散策中に転倒して歩行できない高齢者がいて鈴木が河童橋まで介護。関係者に引き渡した。 ＜怪我の報告＞ 1 名が食事の準備中にナイフで左手の人差し指を切った。直ぐに現地の診療所で、1 時間半に及ぶ 圧迫止血の応急処置を受けた。付添いは高橋・鈴木。翌日帰宅し、後日地元の病院へ行った。 痛みはなく順調に回復中。病院の医者によると応急処置が良かったということだ。				



梓川



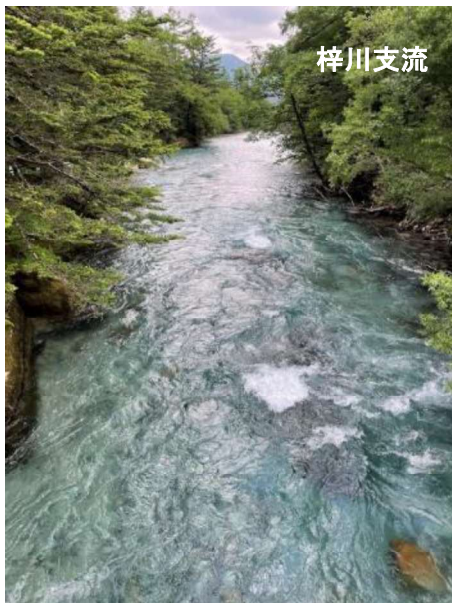
田代湿原に向
かう木道で



崩壊で通行止
めが多発



田代湿原



梓川支流





河童橋で上高地チームと蝶ヶ岳チームの合同写真

定例山行報告		蝶ヶ岳 (2,677 m)		リーダー：小山 三恵 グレード：2B
月 日	令和7年6月28日(土)～30日(月) 2泊3日 テント泊・小屋泊			
場 所	北アルプス 上高地・穂高	日の出日の入りなど	04:35／19:10	
目 的	蝶ヶ岳から眺める穂高連峰の朝焼け			
費 用	約 23,000 円～（宿泊手段で異なる）	交通機関	JR、パークライナー、松本電鉄	
行 程	1 日 目	上高地 BT 前に 13:00 集合予定 上高地 13:00⇒（小梨平キャンプ場に寄る）⇒明神⇒徳澤キャンプ場 15:30 徳澤（泊） ＜歩行時間：約 2:10＞		
	2 日 目	徳澤 6:43⇒（長堀尾根）⇒長堀山 11:17⇒蝶ヶ岳 13:21 ＜歩行時間：約 6:00（後発班）＞		
	3 日 目	蝶ヶ岳 6:23⇒長堀山 7:14⇒（長堀尾根）⇒徳澤 9:40（解散）⇒上高地⇒各自我孫子へ ＜上高地までの歩行時間：約 5:30、徳澤までは 3:20（後発班）＞		
ル ー ト 状 況	特に危ない箇所はないが、急登あり、泥濘あり、残雪あり（軽アイゼン・C スパイクは不要）			
参 加 者	小山（L・食担 L）、村越（SL）、新谷（旗）、北田（やまなみ）、吉川（予約）、藤崎（記録） 相見（カメラ）、高橋芳（点呼）、土田（カメラ）、小林（食担）武内（医療）、山田 男 3 名、女 9 名 計 12 名(1 日目テント泊は 5 名、2 日目は 2 名、1 名小屋泊自炊)			
メ モ	・ 徳澤キャンプ場の幕営費は 1500 円。支払先は徳澤園。（予約不要） ・ 蝶ヶ岳の幕営費は 2000 円。受付開始は当日午後 2 時以降にヒュッテで。（予約不要） ・ 蝶ヶ岳ヒュッテの宿泊費は夕＋朝食付きで 14,000 円。（要予約） ・ 2 日目テント泊者は 1 人のテントに不要なテント・荷物をデポして出発した。 （空テント代 1,000 円） ・ 蝶ヶ岳ヒュッテでは天水を買う。ミネラルウォーターの販売もあり ・ 2 つのグループに分けて登る。先行トップは吉川、後方トップは武内。 ・ 山頂のテラスで 83 歳のお誕生日を祝した。誰なのでしょう（▽▽）			



徳澤キャンプ場からの朝焼け



長堀山



雪溪を渡る



山 頂



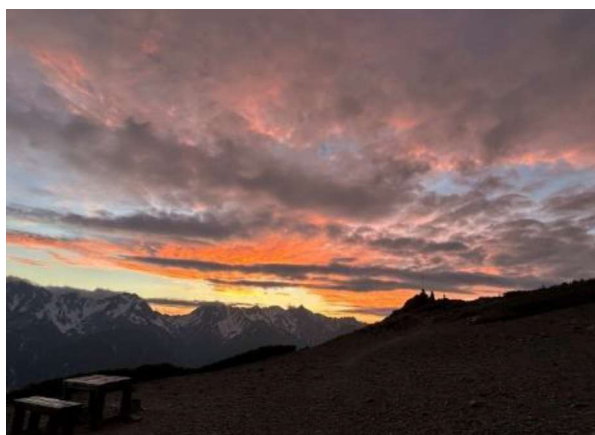
稜線にて



登頂おめでとう！



🎂 お誕生日おめでとう！ 🎂



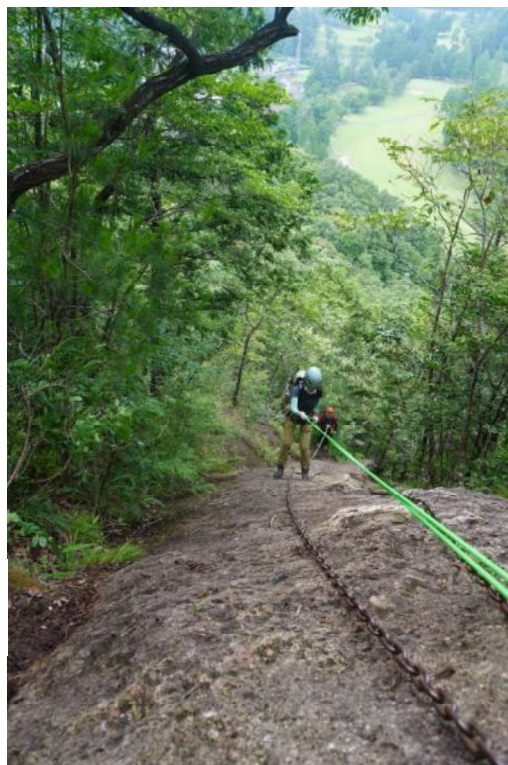
夜明け



定例山行報告		鹿沼 岩山 (328 m)		リーダー:細谷 グレード:1D
月 日	2025 年 7 月 5 日(土) 日帰り			
山 域	足尾山塊	日の出日の入りなど	日の出: 04:26 日の入り 19:03	
目 的	岩場トレーニング			
費 用	約 3,000 円(反省会費用は含めない)	交通機関	電車 (JR・東武)	
行 程	我孫子 5:42→柏 5:46/5:51→春日部 6:34/6:43→南栗橋 7:01/7:03→新鹿沼 7:52/8:00⇒日吉神社 8:35⇒三番岩 9:00(訓練・昼食)12:22⇒2 番岩 13:25⇒一番岩(岩山)13:52/14:10⇒猿岩下降点 14:25⇒猿岩基部 16:10⇒登山口 16:40⇒新鹿沼駅 17:20/18:01→春日部 19:30→柏 20:23→我孫子 20:30 ＜歩行時間:約3.5時間(訓練4時間)＞			
ルート 状 況	入山者が少ない為か、登山道に草が掛かっており、蜘蛛の巣が多かった。道標は整備されており、道迷いのリスクは少ない			
参加者	細谷 (L)、鈴木 (SL・写真)、佐藤 (SL)、千葉 (やまなみ)、土田 (会計)、小林 (写真)、吉川 (救急)、篠塚 (記録)、相見 男 5名、女 4名 計 9名			
メ モ	簡易シットハーネスの作成を実習 岩場で自己確保とムンターヒッチで後続者の確保を練習 昼食後、猿岩に移動し、懸垂下降訓練 (70m) を実施 ダブルロープでのムンターヒッチに苦戦していた シングルロープと見え方が変わるので混乱している様だ			



シットハーネス作成



猿岩下降_ゴルフ場を見る余裕があるか？



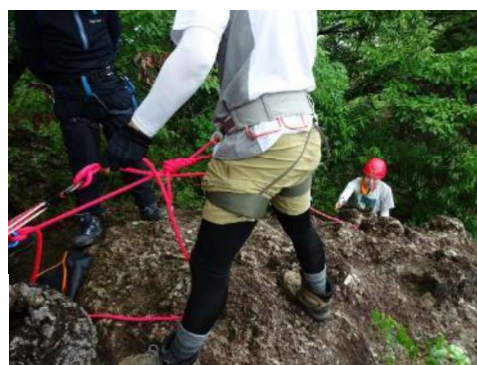
猿岩下降1



猿岩下降2



猿岩下降3



後続者の
確保



岩山山頂

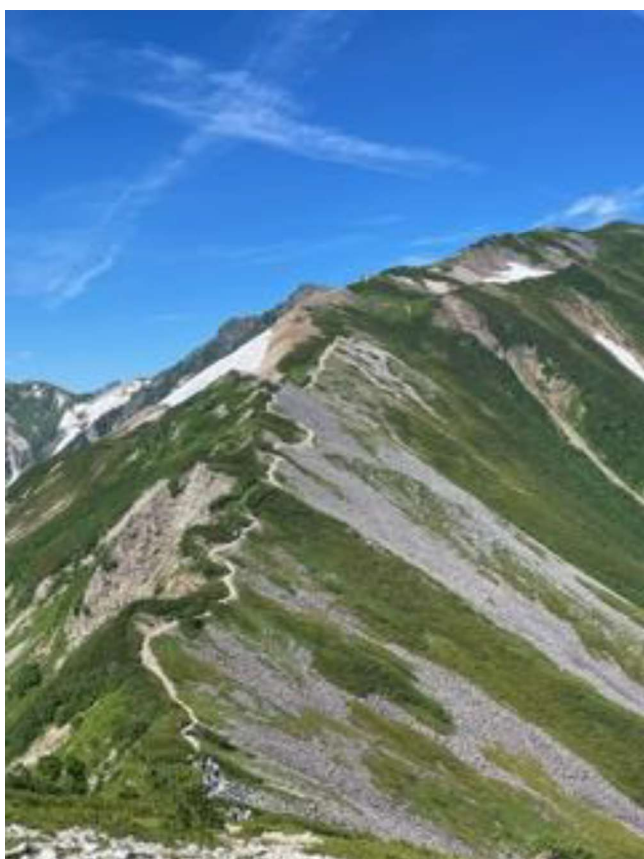
定例山行報告		白馬岳 (2,932m)		リーダー:土田義二 グレード:3C
月 日		2025 年 7 月 17 日 (木)～19 日 (土) 山小屋 2 泊 3 日		
山 域		北アルプス 白馬岳・白馬町	日の出日の入りなど	日の出 4:33 日の入り 19:17
目 的		大雪渓を歩き高山植物の宝庫へ		
費 用		約 50,000 円 (反省会費用を含めない)	交通機関	JR、タクシー、ロープウェイ、バス
行 程	1 日目	我孫子 6:13 常磐線上野行→日暮里 6:42/6:49 山手線→新宿 7:12/8:00 特急あずさ 5 号南小谷行→白馬 11:40/14:00 白馬タクシー→ 臨時バス停 14:30 ⇒14:50 猿倉荘 (泊) ＜歩行時間:15 分＞		
	2 日目	猿倉荘 5:30⇒白馬尻小屋跡 6:35/45⇒大雪渓末端アイゼン装着 7:05⇒小雪渓 (アイゼン岩) 10:25⇒避難小屋水場 11:00⇒白馬岳頂上宿舎 12:15/45⇒白馬山荘 13:25/14:00⇒白馬岳 14:15/14:25⇒白馬山荘 14:45 (泊) ＜歩行時間:7 時間 50 分＞		
	3 日目	白馬山荘 5:50⇒白馬岳 6:05/20⇒三国境 7:00⇒小蓮華山 7:45/55⇒船越の頭 8:40⇒白馬大池 9:30/50⇒白馬乗鞍岳 10:35⇒天狗原 12:00/10⇒銀嶺水 12:40⇒拇池ビジターセンター登山口 13:20⇒自然園駅 13:40 ゴンドラリフト→ロープウェイ→14:21 拇池高原駅 アルピコ交通特急バス長野行→長野駅東口 16:10/17:10 長野新幹線あさま 626 号東京行き→上野 18:52 ＜歩行時間 7 時間 50 分＞		
ル ー ト 状 況		白馬駅から猿倉荘までのバス道路が崩落しており山荘手前 1.5 k m 手前でバス・タクシーを降りて 15 分ほど歩く。近日中に全線開通予定。 大雪渓は今年は雪が多く前爪アイゼンを使用。雪面に小石や大きな石が無数にあり落石に注意が必要でこれは割れやすい岩の性格上毎年の問題点である。 拇池自然園への下山時、特に大池山荘からは岩を乗り越える登山道が天狗原付近まで続くので注意。下山時は残雪箇所もあったが、アイゼン無しで歩行可能。全体的に体力が必要な登山です。		
参加者		土田義二 (L) やまなみ 村越百々代 (SL) 佐藤清宏 (記録) 北田仁則 (救急セット) 北角順子 (会計) 男 3 名、女 2 名 計 5 名		
メ モ		16 日 (水) からの山行予定で一旦は決行を決めたが天気予報が 18 日 (金) 19 日 (土) の両日が天気よさそうなので参加希望者に確認したところ全員 1 日スライドに賛成。宿とタクシーに急遽予約変更願いもスムーズにできた。 結果的に山行日は連日の晴天、19 日は劔岳、立山、富士山をはじめ南アルプス、北アルプス、妙高をはじめとした越後の山々が良く見えた。 雪の解けた登山道は白馬尻小屋手前でも、更に白馬岳頂上宿舎手前も評判通りのお花畑。 晴天の大雪渓は落石を意識しながら赤いベンガラを外さないよう気を付けて上る。 最後の小雪渓のトラバースは安全なようにと良く雪を削って道が作られていた。 アイゼンを外して頂上山荘までの道はお花畑で感動するが、長い雪渓を登り切った足腰にはきつい上りである。 頂上山荘でトイレを借りようとしたが離れたテント場のトイレを使いくださいと言われた。 白馬岳では樹林帯が少ないため、トイレの短い人には辛い山行と思います。 公共交通機関を利用する場合、下山後のお風呂はない。		



白馬岳登頂記念



大雪溪を登る



坂の上の雲の撮影場所？(船越の頭手前から)



朝つゆのサンカヨウ



ウルップソウ

定例山行報告		熊野岳 (1,980m)		リーダー:石塚 グレード:2A
月 日	2025 年 7 月 18 日(金)～19 日(土) KKR 白銀荘泊 1 泊 2 日			
山 域	東北	日の出日の入りなど	蔵王温泉の日の出 4 : 31	
目 的	蔵王連峰主峰に登る。 高山植物を愛でる。			
費 用	約 42,000 円(反省会費用を含めない)	交通機関	JR、バス	
行 程	1 日目	我孫子 5:31→上野 6:04/6:36 (東北新幹線はやぶさ) →仙台 8:03/8:13 (JR 仙山線) →山寺着 9:26⇒やまでら天台の道(垂水遺跡)⇒立石寺山門 11:40 (五大堂・奥の院散策) 下山⇒お店にて昼食⇒山寺 13:56→山形 14:20 着/15:20 (バス蔵王温泉行) →蔵王温泉着 16:00⇒KKR 白銀荘着 16:10 ＜歩行時間：約 3 時間＞		
	2 日目	宿 8:15⇒ケーブルカー(蔵王山麓駅) 8:40→樹氷高原駅→ユートピアリフト駅⇒イロハ沼散策→ユートピアリフト駅→樹氷高原駅(ケーブルカー) →地蔵山頂駅 10:00⇒地蔵山頂 10:30⇒熊野岳 11:40⇒熊野岳避難小屋 11:30 (地蔵岳⇒熊野岳避難小屋 11:20) ⇒刈田岳 12:30/13:10⇒熊野岳避難小屋 13:50⇒地蔵山頂駅 14:50→蔵王山麓駅着 15:30 (KKR 白銀荘にて入浴) /16:20 (山形駅行バス) →山形駅着 17:05 ＜行動時間：約 7 時間 歩行時間：約 5 時間＞		
ル ー ト 状 況	・ 1 日目の山寺の天台の道の入口は山寺駅より 20 分位歩いた最上三十三観音第二札所の階段を上がり(途中踏切の案内も何もない仙山線の線路を渡る)脇を迂回した所でわかりにくい。 ・ 蔵王の方は熊野岳避難小屋よりお釜の方の下りがざれていて滑りやすい。			
参加者	石塚(L)、 小島洋子(SL)、本田(会計)、田村(旗)、大畠(涉外)、齊田、田島(医療)、大賀(写真)、矢野朝水(記録) 男 1 名、女 8 名 計 9 名			
メ モ	・ 1 日目 山寺駅を下りて、お店に荷物を置かせていただいて歩きはじめた。山寺はご存知のように慈覚大師が宝珠山立石寺として開山した観光地ですが、今回は山寺天台の道と称して垂水遺跡を回ってから立石寺の奥の院を目指して 1015 段の階段を上った。(垂水遺跡は 2024 年に山と溪谷社によって紹介された) ・ 垂水遺跡は慈覚大使円仁の修行宿跡とされていて、巨大な岸壁一面の蜂の巣状の穴があり、洞には、古峰神社や稲荷神社が祀られていている。登山道は地元の方々が整備されているようで 歩き安く、歴史を感じる遺跡を見ながら歩けた。 ・ 立石寺の山門入口で入山料 500 円を払い、それぞれのペースで階段を上り、五大堂より山寺の全貌や、奥羽山脈の山々の景色を楽しみ、そこから 200 段あまりの階段を上がり奥の院でお参りして下山。 ・ 2 日目 ロープウェイ山麓線乗り場の駐車場には土曜日の為?か、すでに車が止まっており、階段には並んで待っている人がいた。お天気の恵まれ、地蔵山頂へ向かうロープウェイから眼下には上山温泉の町並み、さらに 残雪の残る飯豊連峰見えた。又直下には、キクイムシの被害で立ち枯れした沢山のアオモリトドマツの白い木肌が哀れだった。国定公園の特別保護区域の為、対策が難しいらしい。 ・ 刈田岳周辺は軽装の人々や登山者等で沢山の人がにぎわっていた。 ・ KKR 白銀荘には、荷物置き場やコインランドリーも完備しており、しかも下山後無料で入浴させていただいた。 ・ 暑い 2 日間でしたが、歴史の道、エマルドグリーンのお釜等堪能した。 ・ 山形新幹線の車両故障の影響で行き帰り共、切符の変更等難しかった。			



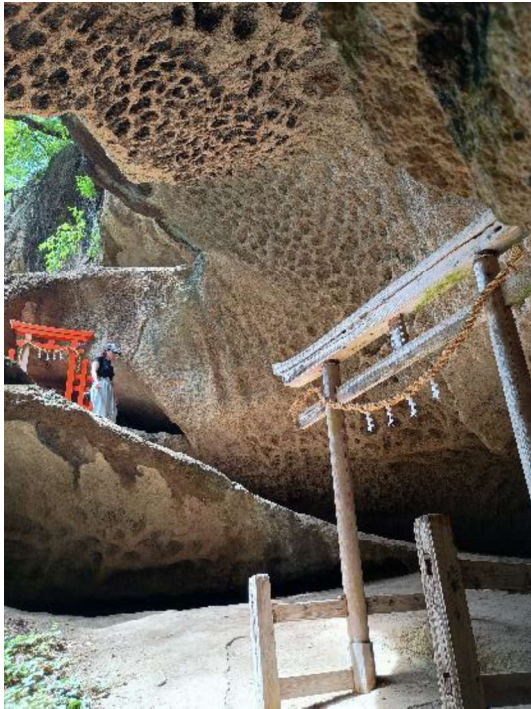
ギボウシ



ハクサンチドリ



コマクサ



峰の浦



山寺山門



一面のキンコウカ



お地蔵さんの前で



熊野岳



お釜とともに

運営委員会・山行部会議議事録

令和7年度 運営委員会(第5回) 議事録

令和7年7月15日(火)

1. 行事予定 (令和7年8月～令和7年10月) : 巻末に掲載

2. 各部より

《会長》*7/5～6 全国救助技術交流集会が神戸であり、県連代表として参加してきました。盛りだくさんの内容で驚いたのですが、1つ救助作業について気になりました。県連では、救助項目をはずして現在活動しています。ただ、警察救助隊に全部お願いすればいいかというところ。北海道は広いので、人間が足りないから労山と警察が連絡を取り合って救助している。が、こちらでは警察以外は入らないでくれと言われたり、北アルプスでは遭難連絡をすると本当にヘリ救助が必要か確認してからヘリをだすとか、遭難者をどこまで降ろせるかと聞かれる。中には急を要する場合があります、救助作業について考えさせられた。

《副会長》*運営委員会が始まる前に、岳人祭(10/4)の打合せと、30周年記念行事(来年)の話合いが行われました。どちらも楽しく有意義な行事にしたいので、皆で関心を持って盛り上げるよう協力をお願いします。(北田)

《総務部》*9月の定例会はアビスタのミニホールで行います。

《山行部》*山行計画書は、これまでと同じ提出先で、受理日は山行部が入れて保管します。

《会計部》*やまなみ発行経費として¥129,922-、ロープ代として¥41,580-、支払いました。

《装備部》*クライミングロープが2本になりました。

《会報部》*やまなみ発行に関して、以前の白黒印刷で¥170,000-位掛かっていたところ、今回カラー印刷で¥129,922-でした(予算20万円)

ただし、入稿するまでに色々なトラブルが発生し困難な作業でしたが、パソコンが熟達した方にご協力を頂き、完成しました。感謝申し上げます。(編集長 矢野朝)

《県連》*県連ふれあいハイク参加者を募集:10/26 君津市三舟山に於いて身障者のサポート方法

*登山計画届システム「コンパス」の紹介:9/25 Zoom 講師インフカム(株)、申し込み方法等、わかり次第お知らせします、等の説明がありました。

3. その他 *岳人祭:参加者はおよそ50人位になると思いますが、班分けをして、班長さんをお願いしての活動になります。

*白崎会長から:会員皆さんがGoogleアカウントを持つというのは、どうでしょう。

県連や他の山の会では便利に使っています。メリットもデメリットもありますが、例えば、Googleフォトアルバムを簡単に作ったり、見たり、ファイルを共有する事が出来ます。等々

8月定例会司会	齊田記代美さん	やまたん原稿 締切り・担当	8月号	7月25日(金) 福山智さん
			9月号	8月25日(月) 鈴木利幸さん

北田、矢野裕、室崎、白崎、矢野貞、細谷、佐藤清、武内、大畠、秋山、千葉、田嶋、小林、土田、一氏、中村八、藤家、中村育、松下、高橋芳、郷田、齊田、外崎、鈴木忠、飯塚、大賀
(運営委員26名)

30 期 第 5 回山行部会議事録

2025/7/15 (火) 19:00～

1. 山行部より

富士山が山開きしました。入山料が 2,000 円から 4,000 円に引き上げられ、富士レンジャーを増員して軽装登山者の規制などがはじまりました。

一方、北アルプス南部では 4 年前から、登山道の維持・管理に多額の費用がかかるため、その一部を登山者にも負担してもらおうと、寄付を呼びかける協力金制度がはじまりました。これを今年は北部にも拡大し、南アルプスでも始まることになりました。中央アルプスでも検討中です。協力金は 1 口 500 円で、山小屋に設置する協力金箱のほかオンライン決済で受け付けます。

山にも、「物価高の波」が押し寄せていると捉えるべきなのでしょうか。

再度のお願い

山行計画書は、必ず 佐藤清宏 と 岳人あびこ山行部 の両方に送付して下さい。

岳人あびこ山行部（G メール）に送れない時は、山行部の 3 人にそれぞれ送付して下さい。
早めの送付を、よろしくお願いします。



(山行部長)

2. 山行計画 : 巻末に掲載

3. 教育研修

【机上研修】

日 程	対象者	研修場所	研修内容	担当講師	資料等
8 月 4 日	新人	定例集会	研修 お休み		
8 月 4 日	全員	定例集会	ヒヤリハットの意味と事故防止	武内、大畠	
9 月 2 日	新人	定例集会	山行計画の立て方	千葉	
9 月 2 日	全員	定例集会	岳人祭関連	森岡、鈴木忠	

【実技研修】

日 程	山 名	対象者	研修内容	担当講師
8 月	乗鞍岳	参加者	アルプスの大展望を楽しむ	北田
9 月	磐梯山	参加者	火山登山を経験する	松下
10 月	大菩薩嶺	参加者	紅葉と富士山を望む	藤家

4. 山行報告

山 名	参加者数		山行 No.	やまなみ	カメラ	ヒヤリハット	特記事項
	会員	一般					
6/18 (水) 箱根～三島	5		1362	矢野裕	大賀	無し	無し
6/19-20 (木-金) 三筋山	3		1363	室崎	郷田	無し	無し
6/21 (土) 破風山	15		1364	富井	水野 鈴木真	無し	無し
6/20-22 (金-日) 桃洞沢&森吉山	6		1365	佐藤明	白崎 吉川	無し	森吉山のゴンドラ駅を過ぎて濃霧のために下山。
6/27-28 (金-土) 上高地	9		1366	相見	相見 鈴木忠	食事用意中に包丁で左手薬指を切った。 上高地診療所で処置、紹介状をもらい、現在は地元の病院治療中。	
6/28-30 (土-月) 蝶ヶ岳	12		1367	北田	相見	無し	無し
7/5 (土) 岩山	9		1368	千葉	小林	無し	トレーニング山行なので事前資料は読んで望んでほしかった。 ロープを結べない人がいた。

5. その他

山行中に怪我や病気で現地の医療機関を受診し、後に地元の大病院を受診する場合は紹介状をもらとうと大病院の初診料が安くなる。皆さんも覚えておいてほしい。

(リーダー) 外崎 高橋芳 大畠 武内 千葉 矢野貞 本田 矢野裕 村越 大平 北田 石塚 小島洋 小林安
佐藤清 森岡 白崎 田嶋 秋山 松下 小野 土田 一氏 吉川 小山 飯塚 富井 (進行) 鈴木忠
欠/ 藤家 新谷 蟹江 小島徹 矢野朝 細谷 北川 佐藤健 郷田 室崎

7 月教育研修

救急法実技（松葉杖の作り方）

講師 外崎さん、村越さん

- 登山中に足首を捻りそうになったことが何度かあります。今回の研修で靴を脱いではいけないこと、靴の上から三角巾で足を固定すること、ストックで松葉杖を作ることができることを教えていただきましたので、足を怪我した場合の対応として理解しました。実際に使うためには時々練習しないといけないと思います。外崎さんと村越さんには、繰り返し三角巾の折り方から歩行練習まで丁寧に教えてくださいましたので、よくわかりました。ありがとうございました。
- 山歩きには、危ないことを予知する能力の向上と共に、いざトラブルが起きたときに、いかに対応するかの知識と技術力を合わせ持つことが必要と思います。今回の研修テーマはこれまでも研修で何回か取り上げられたものですが繰り返し練習することにより、いざというときに慌てることなく対応出来ると思います。熱心にご指導になった講師のお二方、有り難うございました。
- 救護研修ありがとうございました。救護、救命研修など過去に3～5年に1度受けていましたが、実践の機会もなかったので現場で自分の判断で活動するのは不安に感じたものです。退職後はすっかり忘れていたので良い経験になりました。身近なものを使って松葉杖を作ったり、三角巾での固定の力加減も具体的に体験できてよかったです。怪我無く過ごしたいと思いますし、万一の時のことも念頭に活動していくこと確認させられました。ありがとうございました。
- 山では自力下山が基本、と考えます。そのためには様々な知識や経験が大切です。そのひとつで、最も重要なことが救急法を知ることだと思います。今回の研修では、捻挫して松葉杖を作って自力歩行してみる、でした。この方法は、実際の山行で実践してみても有効であることが分かっています。（詳しくは、やまなみ20号P.13~14をご覧ください）これからも、救急法の研修を継続して実施して下さい。
- 貴重な救護方法の実践でした。三角巾で登山靴を固定する方法と松葉杖を作る方法に絞ったのは、大変良かったと思います。何度学んでも、実践的に使う機会がないので忘れてしまいます。そのため、時々、こうして確認出来るのは、有難いと思います。
- 教育研修担当の外崎様、村越様、研修ありがとうございました。三角巾を手を持ったまま汚さず幅広に折っていく方法、何度かした事があります。が、すぐに忘れていましたが、ようやく出来るようになった気がします。登山靴の上から、折った三角巾で足首を固定する結び方。ストックで松葉杖の作り方。も、何度も練習しておくのが、現場で実践出来ると思いました。
- 山での少ない持ち物で、怪我のケアや少しでも自力歩行を出来るようにする方法を再確認できました。日頃の山行でのテーピングの選び方にも工夫が必要と思いました。（幅広のしっかりしたもの）直接の包帯ではなく、靴の上からの三角巾も靴を履いたままの処置は大変参考になりました。分かりやすい資料や、丁寧なご指導をありがとうございました。

その他報告事項・お知らせ

ハイキングのセルフレスキューはどのようにあるべきか
～第5回全国救助技術交流集会に参加して～

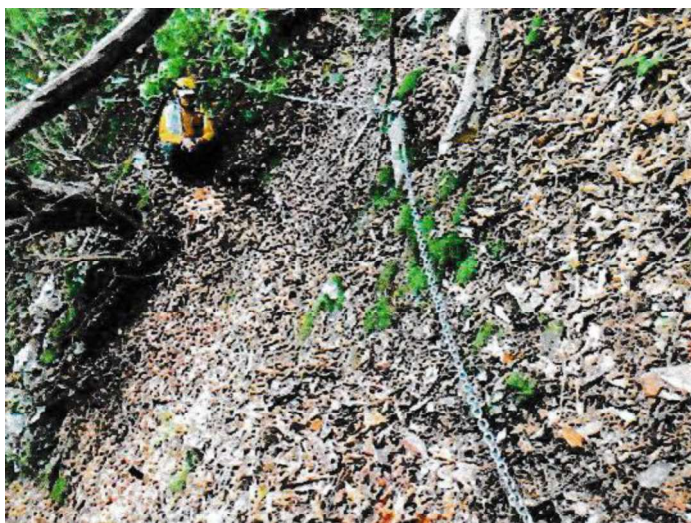
白崎哲史

日時：2025年7月5～6日
場所：神戸セミナーハウス
主催：日本勤労者山岳連盟
主管：近畿地方協議会
参加：49名

労山全国連の救助技術交流集会で紹介された事故事例が、低山での安全確保はどうあるべきなのかについて、とても考えさせられる事例でしたのでその部分のみ報告させていただきます。交流集会の全体的な報告については、千葉ニュースをご覧ください。

【滑落死亡事故事例】報告／岡山県連 加治郷子理事長

- ・倉敷ハイキング倶楽部の広戸仙登山中の事故（2025年5月3日、20名パーティ、事故者は69歳女性）
- ・津山市の観光案内として広戸仙登山マップが市のHPからダウンロードできる。パーティが計画したのも、そのマップに健脚向き（上級者コース／1日コース）と案内されているルートであった。しかし、HPでは「破線内の登山コースは倒木等あり危険な状況です」として、1日コースは通行不可とされている。とはいえ、広戸仙登山マップにはそのような記載はなく、パーティには通行止めだという認識はなかった。
- ・1日コースへの分岐点に、市は通行止めの看板を設けたが、実際には外され、登山道脇に放置されていたこともあって、パーティの誰一人として注意を払わなかった。
- ・1日コースは山肌をトラバースしながら広戸仙を周回するルートになっていて、急斜面では鎖が設置されている。とはいえ、その鎖はときに弛んでいたり、手で掴むには下過ぎたりして、使いにくいものであった。また、メンバーの誰もがヘルメットやロープはおろか、スリングやカラビナといったビレイツールを持参していなかった。
- ・パーティの何名かはこのルートを歩いたことがあり、滑落した女性も歩いた経験があることから、2班に分かれた後ろの班のリーダーとなっていた。
- ・事故はそうした鎖の設置されたトラバース道（斜度45度ほど／写真）で起きた。遭難者は鎖に触れることなく、後ろの班の先頭を歩いていたが11時46分、何かの拍子に転倒してそのまま斜面を40mほど滑落した。
- ・遭難者が転倒した瞬間は誰も見ていない。後続者は自分の足下しか見てはいなかったからであろう。前の班の最後尾に近い人が、何気に後ろを振り返ったときに、斜面を滑落して岩と岩の間に消えていく遭難者を目にしたのみだった。
- ・この後、3名が沢に降りるルートを探して遭難者を見つけたが、本人の意識はなく、額に4cmほどの裂傷があった。12時7分、3名は交代で心臓マッサージと人工呼吸を行う。



- 他のメンバーが電波状況の良い場所を探して警察に連絡し、救助を要請。
- 12 時 10 分パーティは 5 名を現場に残して、当初の予定ルート（1 日コース）で下山を開始した。
- 12 時 45 分ヘリコプターが飛来。消防士 1 名が沢に降下し、13 時 20 分遭難者をヘリに収容した。
- 13 時 38 分救助に関わった 3 名が登山道に復帰し、現場に残った 5 名と合流、先に下山したパーティと同じルートで下山した。

【現場検証】

- 事故後、岡山県連遭難対策委員会が現場検証を行ったが、その際には、ヘルメットにハーネス、ビレイデバイス、カラビナ、スリング、50m ロープ 2 本に補助ロープ 2 本というバリエーションルートを歩くための基本装備を参加者 7 名（遭対委員長・副委員長・委員 3 名・事故パーティの CL・遭対担当者）に求め、鎖場の通過の際にはスリングとカラビナを用いて安全を確保した。
- その現場検証で参加者からは、「ルート状況からは 10 名でも危ないコース」「事故後にそのまま計画のコースを歩いて下山したことに驚いた」「会ではロープや鎖は持たないという指導を受けているそうだが、持っておけば良かったのにと思わざるを得ない」「県連としては、登山道のなくなっている山や現在は通行が困難になっているルートについての対応を考えるべきではないか」「ハイキングの会でのセルフレスキューはどのようにあるべきかを考えていく必要がありそうだ」といった感想が聞かれた。

【個人的感想】

- 「会ではロープや鎖は持たないという指導を受けている」とは、どのような意識で会として安全登山の意識づけを行っているのだろうか。確かに岩場であれば、できるだけ鎖やロープに頼ることなく、手がかりを自分で見つけて登ったほうが実力もつく。しかし、トラバース道での安全確保は、「あるものを活用する」が鉄則であろう。実際、遭難者が鎖をつかまなくても手を添えてさえいれば滑落は防げたと思われる。岳人あびこの皆さんはどのように考えるであろうか。
- ルートも上級者コースとされているものの、現状はバリエーションルートの範疇に入るコースのように思える。挑戦するのであれば、リスクをきちんと認識したうえで装備を整え、安全策を講じて臨むべきだと思えるがいかがだろう。

「やまなみ」第20号の経費について（報告）

「やまなみ」第20号の発刊につきましては、会員の皆様にご協力いただきありがとうございました。
「やまなみ」第20号の作成に要した経費は次の通りです。

内 訳	金 額
印刷会社への支払い	123,420円
校正用コピー代	4,233円
郵送料（退会者等）	1,110円
宛名ラベル	660円
メモリ	499円
合 計	129,922円

なお、「やまなみ」第20号の予算は20万円です。

「やまなみ」第20号編集長 矢野朝水

大至急

日本勤労者山岳連盟の会員証の更新について



誤りがある場合は、齊田まで連絡下さるようお願いいたします **(7/31まで)**

今年 2025 年 12 月 31 日に有効期限が切れます

会員証の更新にあたって皆さまのカードの裏面の表記に誤りがないか

(今後 5 年間は変更できない)

必ずご確認ください

行事予定と山行計画

1. 行事予定（8月～10月）

	月	日	行 事	場 所	備 考
当会	8 月	4（月）	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		19（火）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	9 月	2（火）	定例集会	アピスタミニホール	19:00～20:50
		16（火）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
	10 月	4（土）	岳人祭	五本松公園ふれあいキャンプ場	14:00～
		7（火）	定例集会	我孫子北近隣センター並木本館	19:00～20:50
		21（火）	運営委員会＋山行部会	市民プラザ	19:00～20:50
県連	8 月	21（木）	理事会（休会）		

2. 山行計画（8月～9月）

日 程	分類	山 名	山 域	L/企画者	G	備考（目的）
8/6-7 （水-木）	定	黒斑山～高峰山 水ノ塔山～池之平	浅間	高橋芳/ 中村八	2A	花と展望の山を歩く 【募集済み】
8/7-8 （木-金）	準定	平ヶ岳	上信越	矢野貞	2B	お花畑を楽しむ 【募集済み】
8/26-28 （火-木）	定	塩見岳～間ノ岳	南アルプス	千葉	4C	南アルプス中心部の静かな山稜 【募集済み】
8/29-30 （金-土）	定	乗鞍岳	北アルプス	北田	2A	アルプスの大展望を楽しむ 【募集済み】
9/7-9/9 （日-火）	定	燕岳	北アルプス	村越	2B	北アルプスのパノラマを見る 【募集済み】
9/11-13 （木-土）	定	南岳～槍ヶ岳	北アルプス	佐藤清	3C	北アルプスノ 3000 峰 4 座に登る
9/23-26 （火-金）	定	奥大日岳～立山～ 浄土山	北アルプス	鈴木忠	3B	雷鳥平をベースキャンプに紅葉の立 山を満喫する
9 月-10 月	定	大菩薩嶺	大菩薩嶺	藤家	1B	紅葉と富士山をのぞむ
9 月に変更	定	磐梯山	会津	松下	2B	火山登山を経験する
秋に変更	定	麗人の森	越後湯沢	武内	1A	新緑のブナ林を歩く
来期に変更	定	王岳	富士周辺	矢野裕	2B	大きな富士山を見る
秋に変更	定	大平山・晃石山	栃木県	大賀	1A	アジサイ坂のアジサイを鑑賞

3. 山行報告書の提出先：gaku.abi01@gmail.com（会報部メールアドレス）